

平成29年度行政事業レビューシート (内閣府)											
事業名	地方と東京圏の大学生対流促進事業			担当部局庁	地方創生推進室			作成責任者			
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地方創生推進室			参事官 山下 洋			
会計区分	一般会計										
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	まち・ひと・しごと創生基本方針2017(29年6月9日閣議決定)						
主要政策・施策	地方創生			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東京圏の大学の学生が地方大学で学修することは、教育上の効果だけでなく、学生に地方の魅力を認識してもらうなど、人材還流の面でも効果が期待される。また、地方大学に在学しても東京圏で学ぶ機会があることは、地方大学に進学する誘因となる。このため、地方圏と東京圏の複数の大学が学生の対流等に関して組織的に連携するとともに、東京圏の学生にとって地方の特色や魅力等を経験できる取組を推進する。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	以下のスキームにより、地方圏と東京圏の大学生の対流・交流の促進を図る。 ○地方圏と東京圏の大学において、単位互換制度による学生の対流等に関する協定を締結し、学生の対流・交流を促進する取組を盛り込んだ複数年の計画を策定。 ○計画には、地方公共団体や産業界等の協力を得て、東京圏の学生が地方の魅力を体験できる交流プログラムを盛り込むことを必須とする。 (例：自然環境を生かしたフィールドワーク、地域産業の魅力発信のためのプロジェクト、地域の課題解決を目指すワークショップ等) ○国は、当該計画のうち効果が期待されるものを補助金により支援。										
実施方法	補助										
予算額・執行額(単位：百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	650				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
	計		0	0	0	0	650				
	執行額										
	執行率(%)		-	-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-	-						
平成29・30年度予算内訳(単位：百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	地方創生支援事業費補助金			650	「新しい日本のための優先課題推進枠」650						
	計		-	650							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標31年度	目標最終年度34年度
	地域間の大学における対流プログラムへの参加者の増加		各大学が実施する対流促進プログラムへの年間参加人数		成果実績	人	-	-	-	-	-
					目標値	人	-	-	-	1,600	2,000
					達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)											
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標-年度	目標最終年度34年度
	東京圏の大学の学生における地方就職への意識の向上		対流促進プログラムに参加した東京圏の大学の学生のうち、地方への就職等を検討するようになった学生の割合		成果実績	%	-	-	-	-	-
					目標値	%	-	-	-	-	60
					達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)											

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度	
							-年度	34年度	-年度	34年度
東京圏出身の学生の地方就職率の向上		対流促進プログラムに参加した東京圏出身の学生の地方就職率が、非参加の東京圏出身の学生よりも高い大学の割合	成果実績	%	-	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	100	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標最終年度	
							-年度	34年度	-年度	34年度
地方圏の大学の魅力向上		対流促進プログラムに参加した地方圏の大学の学生のうち、対流プログラムの存在が当該大学の進学につながった割合	成果実績	%	-	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	60	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	算出根拠		
								活動実績	件	-
地域に関して学修するプログラムの開設数			当初見込み	-	-	-	-	-		
			達成度	-	-	-	-	-		
			達成率	-	-	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	算出根拠		
								活動実績	件	-
対流プログラムに関する学生向け・高校生向け説明会の回数			当初見込み	-	-	-	-	-		
			達成度	-	-	-	-	-		
			達成率	-	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	算出根拠			
							単位当たりコスト	千円	-	-
事業費/対流プログラム数			計算式	円/件	-	-	-	-		
			達成度	-	-	-	-	-		
			達成率	-	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠	単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	算出根拠			
							単位当たりコスト	千円	-	-
事業費/対流プログラム参加人数			計算式	円/人	-	-	-	-		
			達成度	-	-	-	-	-		
			達成率	-	-	-	-	-		
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の 必要性	項目		評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国の重要施策である地方創生の推進において、地方への新しいひとの流れをつくる一環としての施策であり、社会のニーズを的確に反映したものである。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国の重要施策である地方創生の推進において、地方への新しいひとの流れをつくる一環としての施策であり、国費をもって優先的に実施すべき事業である。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	地方と東京圏の大学の連携により学生の対流を促進することは、東京圏の大学生の地方との交流を促すだけでなく、地方の学生が地方大学に進学する誘因ともなることから、その両面において地方への人材還流や人材定着に寄与するものである。従って、本事業は地方創生の実現に向けて必要かつ適切な事業であり、優先度は高い。						
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-							
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		-							
	競争性のない随意契約となったものはないか。		-							
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-							
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-							
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-								

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	-	
	改善の方向性	-	
外部有識者の所見			
-			
行政事業レビュー推進チームの所見			
-			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
-			
備考			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年度	-	平成23年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-
平成28年度	-	平成27年度	-
※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。			
資金の流れ (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 内閣府 650百万円 </div> <div style="font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 大学等 10件程度 </div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">補助 (定額)</div> </div> </div>		
	<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> [<ul style="list-style-type: none"> ・地方の大学と東京圏の大学の連携構築・対流促進 ・地方における交流プログラムの設計・実施 等] </div>		